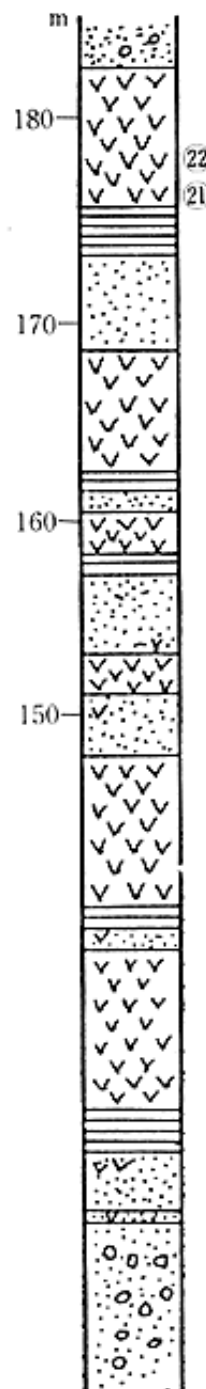


ニレ属 *Ulmus* sp.

▲ 垂三角形のタイプ



▲ のこぎり葉が2回くりかえしある(二重鋸歯)タイプ

■ 発見地点、
垂水区名谷町の柱状図

ニレ属

ニレ属の葉は、卵の形を極端に細長くしたような形で、先はとがり、葉のもとはやや左右不对称である。のこぎり葉は2回切れ込む二重鋸歯になっているものもある。主脈と2次脈はともに太く、2次脈は2つに分れることもある。

白川累層より産出する。

現生のニレ属は北半球の温帯から暖帯に約45種が分布している。

(ニレ科 ニレ属 *Ulmus* L.)



[デジタル化](#) [神戸の自然シリーズ 16](#) [神戸層群の化石を掘る](#) [メニューへ](#)